

第55回運営推進会議

グループホームつながり



登録数17名

男性 5名

女性 12名

令和 4年	11月	
	前回推進会議時	現在状況
要支援 2	0	0
要介護 1	5	5
要介護 2	5	4
要介護 3	2	2
要介護 4	5	5
要介護 5	1	1
申請中	0	0
合計	18	17

平均介護度
2.6

日々の活動報告

12月・1月

バイタル測定

散歩

病院往診・受診

創作活動

洗濯物干し

訪問歯科

入浴

洗濯物たたみ

訪問リハビリ

ラジオ体操

調理補助

訪問理容

口腔体操

食器拭き

クリスマス会

カラオケ

居室・フロア清掃

お茶の会

12月の職員研修

感染症対策委員：大久保妙子

感染予防対策

『手洗いとうがい』感染防止の基本です

- ・食べ物に手を触れる前
- ・外出から戻ったら
- ・トイレのあと
- ・排泄物、吐物を処理したあと
- ・下記症状のある時、又はある人に接した時は必ず正しく手洗いを行う
下痢・腹痛のある者、インフルエンザの疑いのある者
- 調理や食品に触れる事は避ける 避けられないときはP手袋を使う
- 洗濯物：0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液に30分浸けたあと洗う
風邪の症状のある者
- マスクをつける
- 鼻汁・唾液がついた器具：消毒用アルコールで拭く
- 鼻汁・唾液がついた洗濯物：0.1%次亜塩素酸ナトリウム溶液に30分浸ける

体調が良くなければ良い介護は出来ない

- ・栄養のあるものを摂る
- ・身体を休める
- ・ストレスに対して自分なりの解消方法を持つ
- ・菌をホームに持ち込まない ⇨ 免疫力の低い高齢者が生活している
- ・手洗い・うがいの徹底
- ・人混みには極力行かない
- ・加湿器を利用する
- ・こまめに換気する
- ・自身の健康管理が大切

昔は少くらしい体調が悪くても仕事は休まないという気風がありましたが、現在は体調が悪い時はしっかり休んで身体を治すという時代です。

おたがいさまの気持ちで気持ちよく安心して仕事をしましょう。

1月の職員研修

ヒヤリハットの目的と意義

講師: 木原康彦氏

- ハインリッヒの法則

1:29:300

1件の死傷事故が発生したとすると、同じ理由で29件の軽傷事故、300件のヒヤリハットが起きていることが分かった。

ヒヤリハットの調査・分析・対策を行う事で29件の軽傷事故・1件の死傷事故を防ぐ事が出来る。

ヒヤリハットで済んだのは何故なのか？ 併せて考えてみる。

ヒヤリハットの報告があったら『ありがとう』と一言。

ヒヤリハットは悪いことではない→良い事である。

ヒヤリハットは体験した人だけが知る出来事。その体験を報告してもらうことで、どういう事がおきたのか、皆で知る事（共有）が出来る。

報告してもらうことで・・・

1. どういう出来事が起きる可能性があるか知る事ができ、リスク感性（注意力）が増す。

2. なぜ起きたのかを探る事で、再び同じような事が起きないようにする為の安全対策を施しておく事が出来る。

1月の職員研修

分析の狙い

その出来事はなぜ起きたのか？

- ⇒ 同じように見える事でも理由は異なる。
出来事に至るまでの経緯を明らかにし、原因とその背景にあった要因を明らかにする。

分析のもう一つの狙い

- ⇒ 報告された出来事を疑似体験でき、もし自分だったら・・・と一人称で捉えることが出来るようになる。
分析する過程で『こういう行動は危ないのだな』『こういう状況の時は気を付けよう』と気づく事が出来る。



これがリスク感性である。

気づき・アクシデント

12月・1月

・ アクシデント 4件

内容: M・K 様 12月4日(日) PM 7:15

ソファーに腰かけTVをご覧になっていたが口が動いていることに気づき確認すると、洗面所で手を拭いた後に使用されたペーパーを口の中に入れていた事に気づき出していただいた。

・ 気づき 28件

内容: M・S 様 12月20日(火) PM 3:50

自席で過ごされていたが突然床をけて車椅子が後ろへ傾いた(ヒヤリハット)

Y・N 様 1月18日(水) PM 3:30

自席で過ごされていたが姿勢が崩れており、ずれ落ちそうになっていた(ヒヤリハット)

グループホームつながり

☎ 055-970-2938

新型コロナウイルス感染拡大防止の為 会議は休止しております。